

令和5年度社会福祉法人三環舎事業報告書

1 利用定員

	あしたば園	夢来夢来	夢来夢来
就労移行支援	0	7	
就労継続支援B型	18	20	
自立訓練	6		
生活介護	16		
就労定着支援			15
計	40	27	15

- 2 職員数 あしたば園 23名（常勤換算 19.5人）
 夢来夢来 19名（常勤換算 13.5人）
 あさひが丘 10名（常勤換算 5.5人）
 あまみ就業・生活支援センター 4名（常勤換算 3.8人）
 チャレンジドサポート奄美 5名（常勤換算 4.7人）
 計 61名（常勤換算 47人）（R6.3.31現在）

3 主な実績等

① 通所者数

	あしたば園				夢来夢来				あさひが丘	
	就労B	自立訓練	生活介護	小計	就労移行	就労B	小計	就労定着	入所	短期入所
定員	18	6	16	40	11	22	33	11	11	1
4月	20.0	3.0	15.8	38.8	8.3	13.3	21.6	11.0	7.0	0.5
5月	20.0	3.0	15.0	38.0	6.9	14.2	21.1	11.0	6.7	0.5
6月	19.8	3.0	15.1	37.9	5.6	13.4	19.0	11.0	6.9	3.3
7月	20.2	2.0	14.3	36.5	5.4	12.4	17.8	11.0	6.7	0.3
8月	17.8	1.7	12.2	31.7	4.6	10.9	15.5	9.0	6.7	0.3
9月	20.8	2.1	16.3	39.2	6.0	12.7	18.7	9.0	6.0	5.3
10月	20.6	2.0	15.3	37.9	5.7	14.2	19.9	9.0	8.5	4.5
11月	21.5	2.3	15.8	39.6	6.7	15.3	22.0	9.0	8.8	1.1
12月	21.2	2.0	15.6	38.8	4.7	14.8	19.5	9.0	8.7	1.1
1月	20.2	2.1	13.4	35.7	4.5	14.3	18.8	9.0	8.4	0.9
2月	19.7	2.1	15.8	37.6	4.9	14.8	19.7	9.0	9.5	1.6
3月	21.0	2.2	15.7	38.9	5.3	14.7	20.0	9.0	9.6	1.6
月平均	20.2	2.3	15.0	37.6	5.7	13.8	19.5	9.7	7.8	1.8

① 工賃（4～3月） 総額 21,090,540 円

	あしたば園			夢来夢来	
	就労B	自立訓練	生活介護	就労移行	就労B
総額	9,289,710	667,200	1,402,780	1,815,590	7,915,260
平均利用者数	20.2	2.3	15.0	5.7	13.8
平均月額	38,324	24,174	7,793	26,544	47,797

4 活動の内容と成果

令和5年度はコロナウイルス感染症が小康して5類となったが、インフルエンザの流行も相まり、依然として活動が制限された。行事など利用者と職員のみで行うことが多かったが、一部家族会や地域との交流が行えた。またオンラインでの研修が定着し、全国規模の研修にも積極的に参加することが出来た。

主な内容と成果は、次のとおり

- ① グループホーム「みどりが丘」を開設した（9月1日）。入所者6名
- ② 令和5年度は、就職者が1名であった。
- ③ 郵便局が鶏飯の販路を拡大してくださり、郵便局用のパッケージやポスターを作成、大量の注文に対応、郵便局内の全国紙にも紹介された。
- ④ 相談支援事業所チャレンジサポート奄美では、地元にいる心理士に週2日勤務していただき相談に対応できるようになった。相談（124件に心理士検査実施）は、学校からの申し込みが多く、支援に役立てていただき、学校・教育委員会との連携がよくとれるようになった、もぐもぐ外来では保健師や児童関係事業所からの申し込みが多い。また保育所などでの運動遊び支援も定着している。
- ⑤ 給与体系の見直しと職員の処遇改善を行った。また、パート職員の時給の改善を行った。
- ⑥ 利用者へのアンケート、職員の要望・提言調査を行った。

【あしたば園】

《製造班》

製造班は、「ラスク及び菓子製造」、「島じゅうり」の二班で活動している。

ラスク及び菓子製造班は、従来商品に加え、今年度も、ラスク、クッキーシューとチーズケーキ、シフォンケーキが好評で安定的に売り上げている。チーズケーキに関しては、幼稚園や個人注文が増えた。バレンタインやホワイトデーには、利用者さんが描いた、マグカップを制作し、ラスクを添えて販売したところ、とても好評だった。

島じゅうり（加工場）では、郵便局が積極的に鶏飯の販路を拡大してくださり（奄美群島及び豊前・行橋の郵便局）生産に追われることもあった。売り上げが前年比113%となり、工賃向上に大きく貢献した。パン、ラスク・ケーキで927万円（前年度比+73万円）島じゅうり2,015万円（前年度比+239万円）

《委託作業》

あしたば園の畑では、季節に合わせた野菜を植えて、つわぶき、ジャガイモ、大根などを収穫した。また和光園の草刈り作業を受託し、その他官公庁の剪定作業や墓掃除へも取り組んだ。名刺印刷にも取り組み、官公庁よりの受注を行っている。

《生活介護》

日々、障がい特性に合わせた軽作業を行っている。コロナ禍で中断した喫茶レクや遠出販売は利用者さんの楽しみでもあるので、6年度は再開していけたらと思う。

スヌーズレンの活動も継続。スヌーズレンルームで一時的ないらだち、不安感の解消など利用者のリラクゼーションにも取り組んでいる。

また、昨年度より、レクリエーションやボッチャに力を入れて取り組んで、楽しんでおり、村山翔さんが鹿児島国体で銀メダルを獲得した。また、生活介護班の生産活動として、つわぶきの皮むき、箱折り、シール貼り、袋作り等を行い、繰り返し取り組む事によって働くことにも力をつけている。売上アップの為、七夕飾りの商品作りもおこなった。

【夢来夢来】

《製造班》

パン製造班は、徐々に力をつけ、多数の新商品製造に尽力し、夢来夢来は多数のお客様が来店する人気店となっている。店頭販売 1,806 万円 (△167 万円)。むかいクリニックやなぎさ園、幼稚園などの注文にホテルも加わり、納品分が 480 万円 (+27 万円) と多くなった。

《販売班》

店舗では元気よく対応し、お客様に親切なお店として好評で、1 日平均 150 名近くのお客様に対応している。また移動販売班では、販売先の見直しを行い、和光園、市役所、老人施設他たくさんの場所で移動販売を行っている。感染症対策と、移動販売先のお客様の配慮で、引き続き販売を行うことができている。

また、行動規制の解除に伴って、パンの袋詰め緩和を行い、よりよい状態でお客様に提供できることとなった。

スマレジ、自動釣銭機の導入により、店舗業務の効率化を図り、利用者もレジ業務に参加できるようになった。

《喫茶・ランチ班》

コロナ禍の影響で、喫茶を休業することが多かったが、弁当やテイクアウトで対応した。イトインは 397 万円 (+256 万円) テイクアウト 1,107 万円 (△92 万円) であった。

原材料が値上げとなっており、価格の見直しを行った。

《清掃班》

サービス付き高齢者住宅「ゆとりあん」の清掃作業、退所時清掃、ワックスがけを通して、作業スキルを身に付け一般就労への力をつけている。

- ・幸栄パチンコ店ワックスがけ (月 1 回)、ワックス剥離作業 (年 1 回)
- ・利用者が就職したため他の事業所のワックス掛けができなかった。

《奄美市食の自立支援事業》

奄美市が行う訪問給食サービスの委託を受け在宅の高齢者に対して、温かい食事を配食することにより、栄養の改善や、安否の確認等を行っている。

《厨房班》

むかいクリニックの厨房で食器洗浄、仕込み、盛り付けなどを行い、スキルアップに役立っている。

《就労支援》

就職への意欲は高く、就職者 1 名 実習延べ 6 名であったが、それぞれ力をつけている。

《その他の取り組み》

新たな余暇ニーズへの取り組みとして、班を分けながらの活動を行った。感染症レベルが高く、開催できないこともあったが、オンラインなど利用して、できる限り開催することに注力した

【あまみ障害者就業・生活支援センター】

《支援実施状況》（令和6年3月31日現在）

□登録状況（性別）

区分	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計（人）
男性	31	63	47	18	159
女性	13	36	33	7	89
合計	44	99	80	25	248

□登録状況（現状別）

区分	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計（人）
在職中	28	65	25	12	130
求職中	11	29	42	10	92
その他	5	5	12	4	26
合計	44	99	79	26	248

□実習・就職件数

区分	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計（件）
職場実習	2	9	5	4	20
就職	4	6	3	2	15

登録者における男女比は、男性が64%、女性が36%で、障害別では、概ね身体障害者18%、知的障害者40%、精神障害者32%、その他10%となっている。また、登録者における在職者の割合は、約52%である。

実習（25件→20件）、就職（22件→15件）とも目標を下回った。

主な実習先や就職先としては、福祉施設や病院、スーパー等での調理補助や清掃、品出し等あまり変わりはないが、令和5年度からの特徴として、在宅ワーク（パソコン入力）での就労が増えてきている。

《障害者就業開拓推進員の配置》

県雇用労政課の非常勤職員として、障害者就業開拓推進者が1名駐在し、求人開拓や雇用関係情報の収集などの業務に従事して頂いた。（平成26年度から継続）

《離島訪問等》

概ね当初予定回数離島訪問することができた。それにより関係機関との情報共有や登録相談会、事業所開拓等を行うことで実習や就職支援、定着支援、生活支援に繋がった。また、本島内6地区でも10月に登録相談会を開催した。

【離島における訪問回数】

（喜界島）3回 （徳之島）3回 （沖永良部島）3回 （与論島）4回

《在職者交流会》

在職者を対象にした交流会を3回実施し、就労面や対人関係等の悩みなどを共有した。課題の解決や就労意欲のモチベーションの維持を図ることで定着につながっている。

第1回 日時：令和5年6月24日（土）10：30-15：30

場 所：奄美市社会福祉センター4階会議室

講 師：ドコモショップ名瀬店 店長小林和久氏、副店長茂良美氏

テーマ：スマートフォンをあんしん安全に利用するために「奄美市立奄美博物館見学」

参加者：9名

第2回 日時：令和5年12月19日（土）13：30-15：30

場 所：夢来夢来

講 師：センター職員

テーマ：今年1年間の振り返りと来年度の抱負について 「奄美市立奄美博物館見学」

参加者：11名

第3回 日時：令和6年3月9日（土）11：00-15：30

場 所：奄美市社会福祉センター4階会議室

講 師：センター職員

テーマ：身だしなみ講座 「住用町散策」

参加者：10名

《ピアサポート交流会》

就労準備セミナー入門（動画）を視聴し、おしゃれと身だしなみの違いや面接時の身だしなみ等について意見交換を行った。

日 時：令和6年3月25日（月）13：30-14：30

場 所：奄美市社会福祉センター4階会議室

参加者：就労移行支援事業所に通所しているセンター登録者等 5名

《障害者支援担当者交流会》

障害者雇用をされている企業を見学し、その後当センターの活動状況を説明、企業での雇用状況の説明並びにそこで働かれている当事者の思いを聞き、意見交換を行った。

日 時：令和5年9月28日（木）13：30-15：00

場 所：ハイブリッド開催（会場来所とオンライン参加）

講 師：社会福祉法人慈愛会 施設長 奥田敏文氏、職員 稲健一氏

テーマ：愛の浜園での障がい者雇用の取り組み並びに当事者としての就労について

参加者：12社17名

《関係機関との連携》

地域で開催される各会議にオンライン等で参加し、センターの周知を図り、就労支援の為のネットワーク作りを強化することで、連携体制を築いた。

○奄美地区地域自立支援協議会

（全体会、運営委員会、定例会、就労部会、精神部会）

○大島地区就労ネットワーク会議（1回 オンライン開催）

○鹿児島県障害者就業・生活支援センター連絡会（3回うち2回はオンライン開催）

○鹿児島県障害者就業・生活支援センター業務担当者会議（5回うち3回はオンライン開催）

○大島特別支援学校（身だしなみ講座、出張講座等）

《会議開催》

○障害者就業・生活支援センター連絡調整会議

障害福祉サービス事業所や相談事業所、行政機関、教育機関、ハローワークの担当者等に対し、センターの活動状況を説明した。

また、鹿児島障害者職業能力開発校など専門機関に活動内容などの説明をお願いした。

圏域内の多くの関係機関に参加していただくためオンラインで開催した。

日時：令和6年2月1日（木）13：15-16：00（ネットワーク会議含む）

場所：オンライン開催

参加：41機関49名

※第1回大島地区就労ネットワーク会議と共催。

【指定特定相談支援事業所 チャレンジドサポート奄美】

管理者及び主任相談支援専門員 1 名 相談支援専門員 4 名
(現任研修修了者 3 名)

1 計画相談実績

月	利用計画作成 (請求分)	モニタリング (請求分)
4 月	9	72
5 月	74	92
6 月	32	47
7 月	5	55
8 月	38	80
9 月	17	49
10 月	16	48
11 月	29	62
12 月	22	40
1 月	11	88
2 月	26	36
3 月	7	33
計	286 件	702 件

2 障害児等療育支援事業実績

① 在宅支援訪問療育支援事業 (123 件)

- ・小児神経専門外来、発達療育相談
- ・県立大島病院 3 回、奄美市 3 回
- ・心理士相談 (113 回) 発達検査 124 件実施 (含市町村障害児相談事業)
臨床心理士・公認心理士 西留氏
臨床心理士・公認心理士 川元氏
- ・もぐもぐ相談 (鹿児島大学小児歯科 佐藤医師) 2 回

② 施設支援一般指導事業 (67 件)

保育所、幼稚園、学校、大島特別支援学校などからの申し込みを受け、専門スタッフを派遣して、療育に関する技術向上に向けての助言や支援を行う。

- ・発達障害地域支援専門員 大山氏・向井氏
- ・療育指導相談員 當島氏
- ・聖隷福祉事業団 保育士 座安氏、赤塚氏
- ・にこびあ 言語聴覚士 法氏
- ・ニョッキ 言語聴覚士 里氏
- ・鹿児島大学小児歯科 佐藤医師、橋口医師
- ・そらまめキッズ 平原氏
- ・社会医療法人天陽会中央病院 言語聴覚士 松永氏
- ・心理士 西留氏

③ 外来相談支援、一般相談 (0 件)

障害児、障害者に対して随時個別相談に応じる。

④ 障害児親の会

- ・就学児親の会（1回）
- ・ダウン症親の会（1回）
- ⑤ペアレントプログラムの実践（0回）保健師が行うようになった。
- ⑥鹿児島県子ども療育センターのコーディネーター会議への参加
（リモート9回、現地3回）

3 会議への参加

○奄美地区地域自立支援協議会 相談支援部会（毎月） 運営委員会 子ども部会
主任相談支援会議

【グループホーム「あさひが丘」（介護サービス包括型共同生活援助）】

サービス管理者1名、生活支援員3名、世話人4名、宿直3名（内職員兼務2名）
入居定員

- ・あさひが丘 共同生活援助7人 短期入所 1人
- ・みどりが丘 共同生活援助6人

《利用実績》

月	あさひが丘 (入所)	あさひが丘 (短期入所)	みどりが丘 (入所)	みどりが丘 (短期入所)
4月	7名	2名		
5月	7名	3名		
6月	7名	2名		
7月	7名	2名		
8月	7名	1名		
9月	4名	1名	3名	0名
10月	5名	2名	4名	0名
11月	5名	2名	4名	1名
12月	6名	2名	4名	1名
1月	6名	3名	4名	1名
2月	6名	2名	4名	2名
3月	6名	3名	4名	1名

《サービス内容》

☆主として夜間において、共同生活を営むべき住居における相談、入浴、排せつ、又は食事の介護その他の日常生活上の援助を実施

☆利用者の就労先又は日中活動サービス等との連絡調整や余暇活動等の社会生活上の援助を実施

☆利用者個人々の特性に合わせた支援を行うと共に、利用者や家族の将来を見据えた共同生活援助、短期入所サービス利用の促進